

あかまつ



明るいあいさつ
笑顔あふれる
加須西中！

加須市立加須西中学校
学校だより4月号
令和8年4月8日

＜学校教育目標＞ ○本気で学ぶ生徒 ○友達を尊重し仲良くする生徒 ○自ら心身を鍛える生徒
＜目指す学校像＞ 夢や希望を育み信頼される学校



目指す学校像「夢や希望を育み信頼される学校」



校長 青木 久永

色とりどりの花が春風に揺れ、木々の緑が柔らかな色合いを見せる季節。心躍る入学や進級の喜びに花壇のパンジーたちも彩りを添えています。私は、藤間 隆子校長の後任として着任した青木 久永(あおき ひさなが)です。保護者の皆様、お子さんの御入学、御進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本年度は、1年生88名、2年生86名、3年生105名、全校生徒279名(前年度325名)でスタートし、本日、第71回の入学式・始業式を挙行了しました。輝かしい歴史と伝統ある加須西中学校に勤務できることを、とても光栄に思います。職員一同、力を合わせて教育活動に尽力します。どうぞよろしくをお願いします。

学校教育目標は「本気で学ぶ生徒(知)」「友達を尊重し仲良くする生徒(徳)」「自ら心身を鍛える生徒(体)」です。これらは、そのまま継承し、新たに目指す学校像を「夢や希望を育み信頼される学校」と決めました。

本校職員とは出会って間もないですが、学校運営への参画意識が非常に高く、やる気と情熱に満ちています。「西中をもっと良くしたい」という気概があります。校長として頼もしく、期待が膨らみます。どんなにAIの時代になっても、最後は「教育は人なり」なのだ実感させられます。職員の中には、私が中学校に勤務していた当時の同僚や教え子などもいて、みんな立派に活躍しています。

加須西中学校には、生徒会が制定した「新 伝統に生きる」(昭和39年制定、平成22年改訂)があることを知りました。これを読むと、西中生の中に脈々と受け継がれてきた「理想」が書かれています。先輩たちが、どのような学校を目指し、取り組んできたかがわかります。伝統とは、今まであるものをそのまま受け継ぐことではなく、現在あるものをよりよいものに改め、形を変えながら未来へ手渡されていくもの、それが新たな伝統になっていくのです。

本校は、「新 伝統に生きる」を中心として、生徒一人一人のよさや可能性を伸ばし、「夢や希望」の実現を全力でサポートしてまいります。

また、本校は、よりよい学校を目指して、「明るいあいさつ 笑顔あふれる 加須西中!」「チャンス チャレンジ チェンジ!」「心 態度 環境の美しい加須西中!」という三つのスローガンを大切にしてきました。新しい学年が始まるこの出発点をチャンス(機会)と捉え、チャレンジ(挑戦)、チェンジ(成長)し、「夢や希望を育み信頼される学校」を、みんなで力を合わせて創ってまいります。

現代社会は、Society5.0、デジタル化、少子高齢・人口減少社会、複雑多様化する価値観などと形容されます。変化の激しい社会の中で、生徒には、人としてよりよい選択を積み重ね、仲間と協力して主体的に行動し、社会に貢献できる自立した人になることを願っています。その礎を、この西中で築いていきたいと思ひます。

結びに、古来、教育の道は「家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる。」と言われます。学校・家庭・地域が、それぞれの役割と責任を果たし、連携・協働してこそ教育が充実し、生徒一人一人に知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康・体力)の調和のとれた「生きる力」を育むことができます。

本年度も本校教育活動の推進について、保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。

新 伝統に生きる

- 一. 日本一の赤松林、澄んだ空気
- 二. 明るいあいさつ、ていねいな言葉遣い
- 三. 交通ルール、マナーを守った登下校
- 四. 清掃の行き届いた校舎・校庭
- 五. 正しい服装、輝く名札
- 六. 全校でしっかり臨む朝会
- 七. チャイムと同時に始まる授業
- 八. 友情で結ばれた明るく楽しい学校



西中マスコット まつん

昭和39年加須西中生徒会制定

平成22年加須西中生徒会改訂

